議 会 事 務 局

事務事業評価票

事務事業評価票				所管課	議会事務局					
事業番号	0100100		事務事業	議員の報酬等事務事業			細事業	—		
事業目的	議員報酬や各種負担金を支出する。									
事業対象	市議会議員		事業概要	議員活動の対価としての報酬や期末手当、議員活動に資するための政務活動費、各市との情報交換や国・都への要望等を組織的に行う議長会等の関係団体への負担金及び議長が議会を代表して行う対外的な活動に必要な議長交際費を支出する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名	—		
	●	●								
事業費 (円)	令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	223,807,426	218,916,000	217,467,094	99.3%	221,603,000	101.2%	242,450,000	20,847,000	109.4%	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
報酬等の支出について		遅滞なく適正に支出	遅滞なく適正に支出	遅滞なく適正に支出	遅滞なく適正に支出	遅滞なく適正に支出		遅滞なく適正に支出		
令和5年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	現状維持	議員への報酬、手当等の支給及び議長会等の関係団体への負担金の支払を迅速かつ適正に行っていく。また、議長交際費の支払についても、支出基準に基づき適正に行っていく。政務活動費については、年度途中において議長が各議員の支出状況を確認するなど、令和元年度から適用している国分寺市議会政務活動費経理要領に基づく適正な運用を図っていく。								
令和7年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	高い	地方自治法で普通地方公共団体に議会を設置することが義務付けられており、議事機関として適正な議会運営につながることから有効性は高い。							
	事業実施方法の妥当性	高い	議員報酬等や議長会等の負担金については、条例・会の規約等により、政務活動費は条例・経理要領等により適正に運用しており、議員の情報収集・調査及び資質向上に活用されている。また、議長交際費についても、支出基準により適正に支出し、市ホームページで使途を公表していることから妥当性は高い。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
拡大・拡充	議員報酬や議長会等の関係団体への負担金、政務活動費等については、議会運営の活性化を図るため、引き続き、根拠法令に基づく適正な予算を計上する必要がある。なお、次年度については、議員報酬月額及び期末手当の改定等に伴う予算を確保する必要がある。									

事務事業評価票

事務事業評価票				所管課	議会事務局					
事業番号	0100200		事務事業	議会事務事業			細事業	—		
事業目的	効率的かつ効果的な議会運営の条件整備を図る。									
事業対象	市議会議員、市民		事業概要	本会議・委員会の運営事務、調査事務、傍聴者管理事務、議会図書室管理事務などの議会及び議員活動に資する事務全般を行う。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名	—		
	●	●								
事業費 (円)	令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	3,886,147	5,674,000	4,630,297	81.6%	78,334,000	1380.6%	4,632,000	▲ 73,702,000	5.9%	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
傍聴者数 (人)		121	259	93	115	240				
令和5年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	現状維持	円滑で公正・公平な議会運営につながる事務執行に努めていく。また、より効率的・効果的な議会運営、事務の効率化を図るため、他市における先進事例等の情報収集を行い、日々研究を重ねていく。								
令和7年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	高い	地方自治法で普通地方公共団体に議会を設置することが義務付けられており、適正な議会運営や議員活動の支援につながることから有効性は高い。							
	事業実施方法の妥当性	高い	本会議・委員会の運営事務、調査事務、傍聴者管理業務、議会図書室管理事務等について、効率的かつ効果的な議会運営や事務の効率化を進めていることから妥当性は高い。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
現状維持	引き続き、適正な議会運営を図るために必要な予算を計上する必要がある。									

事務事業評価票

事務事業評価票				所管課	議会事務局					
事業番号	0100300		事務事業	議会報及び会議録作成事務事業			細事業	—		
事業目的	議会報の発行及び会議録の作成により、議会活動等を市民に知らせる。									
事業対象	市民		事業概要	本会議録・委員会記録の作成及び図書館・オープナー等への配架やホームページへの掲載、本会議・予算特別委員会・決算特別委員会の動画配信、「議会だより」の全戸配布などにより、広く市民に議会活動や審議経過・結果等を広報する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名	—		
	●	●								
事業費 (円)	令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	9,333,769	10,716,000	9,695,767	90.5%	12,527,000	116.9%	14,924,000	2,397,000	119.1%	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
議会だより発行部数 (部)		284,530 (4回/年)	286,805 (4回/年)	144,120	144,390	292,800				
令和5年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	現状維持	新庁舎に新たに導入する議場等会議システムの新機能の活用により議会映像配信の充実を図るとともに、本会議録・委員会記録の効率的な作成及び公開等を進め、迅速かつ充実した議会情報を発信していく。								
令和7年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	高い	会議録の作成や議会だよりの発行、動画配信による情報発信を行うことにより、市民の議会への関心や理解促進につながることから有効性は高い。							
	事業実施方法の妥当性	高い	動画配信の視聴者数は、年々増加傾向にあり、議会だよりの全戸配布、本会議録・委員会記録の図書館・オープナー等への配架及びホームページへの掲載により、広く市民に議会活動や審議経過・結果等を広報できていることから妥当性は高い。							
	次年度の実施方針と予算計上の考え方									
現状維持	引き続き、迅速かつ充実した議会情報を提供するために必要な予算を計上する必要がある。									

事務事業評価票

事務事業評価票				所管課	議会事務局					
事業番号	0102400		事務事業	法令等追録事務事業			細事業	議会事務局関係事務事業		
事業目的	議会運営上の基本となる諸法令集及び関係図書の整備を図る。									
事業対象	市議会議員、議会事務局職員		事業概要	議会運営上必要となる法令や各種資料を最新の状態に更新することにより、円滑な議会運営や議会活動、議会事務局の事務に寄与する。						
事業根拠	法令等	市例規	市要綱	総合ビジョン	その他計画	予算のみ	総合ビジョン 施策名	—		
	●	●								
事業費 (円)	令和4年度	令和5年度			令和6年度		令和7年度			
	決算額	予算額	決算額	執行率	当初予算額	前年度比	当初予算額	増減額	前年度比	
	388,595	408,000	407,220	99.8%	432,000	105.9%	441,000	9,000	102.1%	
事業の重要業績評価指標 (KPI)										
指標名 (単位)		令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度				
				上半期	下半期 (見込み)	目標値				
追録数 (件)		267	258	64	186	272				
令和5年度決算	今後の進め方 (成果と課題)									
	現状維持	議員の議会活動や調査活動に必要な情報を提供するため、議会図書室に実務提要等を配架し、最新の内容に更新していく。また、新庁舎への移転を契機として、議会図書室の在り方、図書の充実や活用を図るための整理方法等について研究を重ねていく。								
令和7年度予算編成	現状分析									
	視点	現状分析	理由 (根拠)							
	事業目的に対する有効性	高い	議会運営上必要となる法令や各種資料について、最新の内容で把握することが可能となるため有効性は高い。							
	事業実施方法の妥当性	高い	議員の議会活動や調査活動の促進、円滑な議会運営等に寄与していることから妥当性は高い。							
次年度の実施方針と予算計上の考え方										
現状維持	引き続き、法令や各種資料を最新の状態に更新するために必要な予算を計上する必要がある。									